

田中家通信

全優店
全国優良石材店



株式会社田中家石材

VOL. 38

発行 株式会社 田中家石材
住所 彦根市高宮町1-0-1
電話 0749(22)50000
HP: <http://www.tanakaya-sekizai.com/>
Mail: info@tanakaya-sekizai.com

謹賀新年

「元旦にまずご先祖様にご挨拶」
お正月にはお仏壇に手を合わせ、ご先祖様に感謝をします。

そして氏神様に初詣に行き、去年一年の無事を感謝し、また今年一年が無事であるようにと手を合わせます。

ご先祖様には「こうして家族みんなが無事、お正月を迎えることができました。」とお墓にお参りをしましょう。

この様な姿を子供たちに見せることで、小さな頃からご先祖様に感謝し、手を合わせる習慣が自然と身につきます。

感謝する気持ちを持つことは、心の優しい人に育っていくか、ということだと思います。



恩人。先師のお墓

お墓を祀ることを別名「養老」といい、先人、先輩に尊敬の念をもつ心を養う場所がお墓であるといっても過言ではありません。恩人の墓、先師のお墓に参る人は、この養老の心を知る人達でしょう。

先人達のお墓には、それなりの「徳分」が詰まっています。その「徳分」を引き出して自分のものにするかどうかは、その人の心の持ちようにあります。

自分の祖先の墓に、この「養老」の意義を知るか知らないかの差は、「その人の人生の差となって現れる」ことを考えるべきであると思います。

誕生日



一年に一度の誕生日は、家族・友達・知人にお祝いの言葉をかけてもらい、プレゼントをもらったりと、楽しく気分の良い一日です。

でも、その前に大切なことを忘れていませんか？

今の自分があるのは、ご先祖・両親の「お陰」だということです。誕生日には命を授かった氏神様に参拝し、ご先祖の墓前に手を

お正月飾りの決まり事

「お正月飾りはいつ飾る？」

正月飾りのメインは地域によって異なりますが、一般的には門松・鏡餅・しめ縄になります。

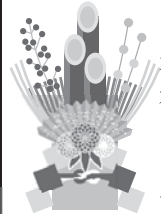
これらの正月飾りは、十二月十三日から二十八日までの間に飾ります。三十一日は「一夜飾り」といって、神様に対して失礼に当たるということから避けるようにするのが一般的です。

「お正月飾りはいつ外す？」

正月飾りを外すのは「松の内」の最終日になります。

関東では一月七日ですが、関西は十五日で地域によって異なります。

しめ縄は各地方で一月七日や十五日に行われる神社の火祭り「どんど焼き」で焼却されるのが一般的。近くの神社でも預かって処分して頂けます。



「痛みを知る」

学生時代にスポーツ、文化系、いずれにしても、一つのことに打ち込むことは自分の将来に必ずプラスになります。

なによりも楽しむことが一番ですが、失敗の経験はもっと大切です。

私も補欠の経験があります。レギュラーになれなかったことを悔やむのではなく、補欠の気持ちの持ち方、悔しかった経験を大切にしてください。

マイケル・ジョーダンの言葉

「選手生活の中で9000本以上のシュートをミスした。300回近く試合に負けた。26回ウイニングシュートを任され、失敗した。人生の中でなんどもなんども繰り返し『私は失敗した』。それが私が成功した理由だ。」



「子供に迷惑をかけたくない」

お仏壇・お墓のことで子供に迷惑をかけたくないという思いから、子供に相談もせず「お墓を撤去」してしまいい後悔される方がおられます。

お仏壇お墓は「家の根」であり、なくしてしまつことは心から手を合わす場所を失うことになると思います。

遠方にお墓参りを続けてこられた方の中には、遠方が故に大変な思いをされてきた方もおられると思います。同じような思いを子供にさせたくないということは、無理もないことだと思います。

確かに、お墓の継承は何かと面倒なことですが、私はその面倒なことを続けることが「供養」だと思っています。お墓は故人や先祖に出会える大切なところです。

先祖に感謝や報告をする場所を残すことは、子供達にとって、とても大切なことではないでしょうか。

「正しく生きる」

お正月となると多くの方が神社へ初詣に行かれると思います。各地域の寺院では正月三日間に「修正会（しゅうしょうえ）」と言い、正月の法要がお勤めされます。

「修正」という漢字に注目しますと、一般的には修正（しゅうせい）と読み、まちがいを修

新年の抱負

私は祖父から始めた、家業「石屋」の三代目を継いで約四十年になり、創業から数えますと百年企業になります。今、娘が四代目を継ぐべく日々研鑽しております。

幼い頃の記憶は、昔テレビドラマで「寺内貫太郎一家」という西条秀樹と小林亜星が出演された番組がありましたが、まさにその通りで、祖父が毎朝、四時に起きてコークスを鞆（フイゴ）でおこし、ノミを焼いていました。お店兼仕事場に遊

「先祖の陰徳」

何代も続いている家ほどご先祖様も多く、その分ご先祖様からの「徳」の「お陰」を受けておられると思います。

その「お陰」とは、「良いことが起こる」というのではなく、「悪いことが起こらない」ということです。

つまり「何で自分だけこんな事が」と思うようなことも、実は「これで済ましてもらっている」ことばかりで、そこに神仏、ご先祖のご加護があると私は信じています。

それぞれ家の事情がありますが、やむおえない理由がない限り、その大切な「家の根」を断つてしまわないように私は切に願っています。



正して正しく生きることを意味します。一月のことを仏教の読み方に合わせて正月（正しい月）というのも、そうした深い意味が込められています。

情報が溢れかえる現代社会、本当に正しい事は何なのか見定め、たえず自分の足元をみつめ、自問自答することを忘れないようにいたしましょう。

成満寺 木本晃英

びに行くと、石のホコリで真っ白になり、の破片がノミの頭（鉄の破片）が飛んで来て危険でした。冬はアカギレの手で黙々と石を磨き、夏は汗だくで現場作業をする祖父と親父の姿を見て育ちました。

今、つくづく稼業を継いで良かったと思っています。

「お墓を通して先祖の養の大切さを伝える」を社是に幅広い層の方々から喜んでいただける「石屋」の息子に生まれて本当に良かったと、御先祖と両親に感謝しています。

商売とは緊張の連続ですが、緊張感の共有が達成感の共有につながります。

今年も、今年は、今年こそ、皆様にとって佳き一年になりますようお祈り申し上げます。